

第56月回 俳句を楽しむ会

「かわせみ会」 会報

1 開催日 2023年 2月23日 13:00~(15:00) 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

2 参加人数 ・男性8名・女性2名 計10名

3 今回の季語 二月(如月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)

4 選句の結果 * 下線を表した句は、参加者本人の特選句!

- ・梅も見ず早駆急ぎ仲間逝く
- ・ポケットに喉あめひとつ余寒なほ
- ・寒暁の灯下に浮かぶ白い道
- ・腰掛けの昨夜の湿りや梅の園
- ・赤き実や小枝に集う寒すずめ
- ・小春日や畑に鋤打ち土香る
- ・鳴き交わす小枝に止る鳥の恋
- ・陽がこぼれきらめく波の冬の川
- ・早春の空ひろびろと鶯の笛
- ・妻思い故郷を思い冬雲
- ・福豆を年の数だけ食べきれず
- ・予定表混みて余寒も吹っ飛びし
- ・観月の光思わず手を合す
- ・凍て窓の内に滴る結露川
- ・目覚めても布団の心地俳句部屋
- ・雪道に想いおこせし若き日々



(城南宮のしだれ梅)



(東大寺二月堂 お水取り)

5 講評・添削 披講: 東さん

- 1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ
- ・自分史の家系図編みる 二月尽 <ニガツジン/ニガワツジン>
* "初春"のj季語
 - ・予定表混みて 余寒も吹っ飛びし <ヨカン>
* "初春"のj季語
 - ・鳴き交わす小枝に止る 鳥の恋
* "春"のj季語
 - ・腰掛けの 昨夜の湿りや梅の園 <ヨベノシメ>
* "夜露"の表現
 - ・早春の 空ひろびろと 鶯の笛
* "鶯の笛"の表現でより広い空間を表現

2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!

・ 梅花の香 ベランダを満たし春思
※1 春の季語 ※2 夏の季語

・ 福豆と 柊の加護 冬菫
※1 ※2 ※3 ※1 福豆; 晩冬の子季語 (=豆撒き)
※2 柊; 初冬の季語
※3 冬菫; 冬の季語

・ 凍て窓の内に 滴る 結露川
季語重なり * 結露は季語ではないが、"露"は秋の季語です。

選外句

- ・盆梅のとぼしき縁日に当たる
- ・自分史の家系図編みる二月尽
- ・川べりの光さだかに猫柳
- ・寒椿見送る花や子供等を
- ・湯煙に春の一句浮かびけり
- ・春風に渦潮流れ明石橋
- ・梅花の香ベランダを満たし春思
- ・雨戸締め良く眠りたりし春の月
- ・コロナ過ぎ同期会開き春そこに
- ・福豆と柊の加護冬菫
- ・冬の旅妻とかたらうあたたかさ
- ・夜半の空春待ち月に見えしなり
- ・還りゆく人ふと思う野焼きかな
- ・球春や待って又待つ「アレ」の夢

*「夕焼」は夏の季語ですが、一年中の季語としてある。
例:「春の夕焼」、「秋の夕焼」、「冬の夕焼」

6 次回(#57)開催日 2023年 3月23日 13:00~(15:00) 第4木曜日

兼題: 三月(弥生)の季語全般 注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

歳時記を参考に! 注2) "五七五"の17音(文字)を満足すること!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

